

IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

- 第10回 IATSS国際フォーラム (GIFTS)開催
- (公財)国際交通安全学会創立50周年記念出版発行
- IATSS Research Vol. 48, Issue 4 およびIATSS創立50周年記念特集発行
- 第66回IATSSフォーラム修了
- 第12回国際自転車安全会議 (ICSC)の開催

第10回IATSS国際フォーラム(GIFTS)開催

第1回GIFTS (Global Interactive Forum on Traffic and Safety) が2015年に初めて開催され、おかげさまで本年の当学会創立50周年と併せて、GIFTSも第10回目の大切な節目を迎えることができました。

今回はGIFTS 10年間の集大成として、「理想的な社会に向けた交通文化」をテーマに、交通文化の地域的な違いを理解し、それぞれに向けた政策提言につながる議論を行い、また、それらを社会実装していく手法などについて、内外の有識者を交え掘り下げました。

詳細はIATSSウェブサイトで報告をしておりますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

▶ https://www.iatss.or.jp/event/gifts/10th_GIFTS.html

日時：2024年12月7日（土）10:00～17:10

会場：東京コンベンションホール（ハイブリッド開催）

テーマ：理想的な社会に向けた交通文化

開会挨拶	会長	武内和彦
基調講演1	ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン	ニコラ・クリステイ
基調講演2	世界資源研究所 (WRI)	クラウディア・アドリアゾーラ スティル
趣旨説明	GIFTS実行委員会委員長	中村彰宏
パネルディスカッション		
司会	IATSS会員	中村英樹
パネリスト	国際道路連盟 (IRF)	スザンナ・ザマタロ
	ティルコン・リサーチ&コンサルティング	ヴァウター・ヴァン・デン・ベルジェ
	マーシャル大学	ガッサーン・アブ レブデ
	東京大学	鳥海 梓
ワークショップ		
司会	IATSS会員	森本章倫
プレゼンター	世界資源研究所 (WRI)	クラウディア・アドリアゾーラ スティル
	アジア開発銀行	マイケル・アニヤラ
	国際協力機構 (JICA)	須原靖博
IATSS創立50周年総括	創50戦略会議議長	中村文彦

(敬称略)

(公財)国際交通安全学会 創立50周年記念出版発行

国際交通安全学会は1974（昭和49）年の設立以来、学際的研究調査をはじめとする各種活動をもとに、国の政策への提言、交通分野における国際協力などの成果を発信してまいりましたが、2024（令和6）年に50周年を迎え、同年9月17日に記念式典を開催いたしました。

それに合わせて、記念事業の一環として、2014（平成26）年の40周年記念出版の『交通・安全学』をベースとし、より時宜に合った内容に改訂するとともに、学際性および国際性を重視した教科書『未来を拓く交通・安全学』（A5判・288ページ）を2024（令和6）年8月30日に丸善出版より発行いたしました。

▶ <https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b306076.html>

今回は、40周年のときとは異なり、一般の書店での販売をいたします。



〈章構成〉

はじめに

本書の特徴と活用について

執筆者一覧

第1章 都市と交通

第2章 土地利用と交通

第3章 交通と環境

第4章 公共交通と地域社会

第5章 交通工学

第6章 安全性向上のための技術：インフラ編

第7章 安全性向上のための技術：自動車編

第8章 自動運転と運転支援

第9章 交通心理学

第10章 交通教育学

第11章 交通安全と医学

第12章 自動車の安全運転を確保するための法体系

第13章 持続的成長：経済学の視点

おわりに 持続可能な交通社会を目指して

IATSS Research Vol. 48, Issue 4 およびIATSS創立50周年記念特集発行

IATSS Research Vol. 48, Issue 4 およびIATSS創立50周年記念特集が発行されました。

Elsevier Ltd. のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

Vol. 48, Issue 4

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/48/issue/4>

第66回IATSSフォーラム修了

2024（令和6）年9月16日から約2カ月にわたり、アジア9カ国20名と日本から1名を加えた計21名が参加した第66回IATSSフォーラム（2024年秋フォーラム）が開催されました。

IATSSフォーラムは社会の持続的発展を担うリーダーの育成を目的とし、持続可能な発展、人間の安全保障、環境、経済、教育、産業史、観光、政治等をテーマに研修を実施してきました。2024年度からは、モビリティを通じたウェルビーイングの向上もテーマに掲げ、IATSSの特色を活かしたモビリティに関連した新しいプログラムを導入しました。

その一環として、超高齢化社会や環境問題への対応を踏まえたネットワーク型コンパクトシティ（NCC）の構築に取り組む宇都宮を訪問し、次世代型路面電車（LRT）を基盤としたまちづくりを学びました。人口減少や高齢化で都市機能の維持・管理が増大している日本において、公共事業を推進する上での公平性や事業性、意思決定におけるリーダーの役割などについて、セミナーで学びながら現場視察を行うことで、より学びを深めることができました。

一連のセミナーとフィールドスタディー終了後には、各国・各地域での持続可能な地域・社会づくりのためのグループ研究に取り組み、その成果を3つのグループに分かれて研究発表会でプレゼンを行いました。

1. EMPOWER HERS！～The Girlhood not Motherhood Initiative in Can Gio District, Hochi Minh City, Vietnam～
ベトナムホーチミン市内の高校での若年層の意図しない妊娠を防ぐための啓蒙活動
2. MOD-THAI NICE～Waste with Benefits～
タイ中央部のプラチュワップキリーカン県ブランプリにある小学校でのごみの分別リサイクル教育
3. I see U～Mental Health Participatory Design Toolkit for Youth in Indonesia
インドネシアロテ島の高校生向けのメンタルヘルス教育

研究発表会にはラオス、インドネシア、シンガポール、フィリピンの駐日大使館関係者計5名を来賓に迎え、各グループとも好評をいただき、同日続いて行われた修了式を無事迎えることができました。

研修を通じて学び得た知識や経験から、自国に合ったウェルビーイングの向上を考え行動することで地域社会へ貢献し、将来を担う若手リーダーとして、今後もさらに活躍することが期待されます。



▲宇都宮訪問



▲修了式

第12回国際自転車安全会議 (ICSC) の開催

2012年以降、欧米の研究者が中心となり、自転車先進国オランダでコミュニティーが設立され、毎年開催されてきた国際自転車安全会議 (International Cycling Safety Conference, ICSC) は、自転車安全の向上を目指す科学的および実践的な活動に携わる科学者、政策立案者、その他の専門家のためのフォーラムとして機能してきました。この会議は、アイデア交換や議論の機会を提供し、参加者が旧友と再会し、新たな協力者と出会う場となっています。これまでに何百もの研究が新たな課題に取り組み、革新的な実践的解決策を提示してきました。

このたび、アジア初となる国際自転車安全会議 (ICSC 2024) が、国際交通安全学会 (IATSS) の主催により、愛媛県今治市において2024年11月5日から7日まで開催され、20カ国以上から約180名が参加しました。

参加者は、5日のプレカンファレンスでは、今治市内やしまなみ海道を自転車で巡り、子ども向けの自転車安全教育、自動車と自転車を結ぶインフラの見学、企業によるデモンストレーションの見学、自転車安全研究に関するワークショップなどを体験。6～7日の本会議では、ポスターセッションや口頭発表を通じて、自転車安全に関心を持つ専門家同士が交流し、互いに学び、知識を共有しました。また、ポスターセッションには地元今治市の高校生15名も参加し、身近な自転車の安全について学びました。

発表された研究については、IATSS Researchの「ICSC 2024 Cycling Safety Culture」特集で、論文投稿を受け付けました。発行の折には、改めてお知らせいたします。

ICSC 2024の開催にあたっては、内閣府、国土交通省、警察庁、愛媛県、今治市、日本交通心理学会、日本交通工学会、日本自転車普及協会、自転車活用推進研究会の皆様の協力を得て、アジアで初めてとなるこの会議を当学会が主催することができました。関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

ICSC 2025は、2025年11月4日から6日までノルウェーのオスロで開催され、ノルウェー交通経済研究所 (TØI) の主催で行われます。(https://icsc2025.net/)